

第6期
練馬区高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画

重点事業の進捗状況報告

平成28年5月27日

第3回練馬区介護保険運営協議会

一人ひとりに合った医療・介護等の連携を支援

● 医療・介護連携推進員の配置

高齢者相談センター本所に「医療と介護の相談窓口」を開設し、医療・介護連携推進員を配置する。推進員は、医療・介護の施設や事業所を把握し、その人に合った「医療・介護連携チーム」の編成を支援する。

● 在宅療養ネットワークの構築

急性期から在宅まで切れ目のない医療・介護を提供するため、病院や診療所、介護施設などの地域資源をいかし、医師会等との連携による在宅療養のネットワークを構築する。

29年度目標	26年度末見込	27年度目標	27年度実績
医療・介護連携推進員 高齢者相談センター4 か所に各1名配置	—	4名配置	4名配置 (相談件数4所平均 年800件/所 医療介護連携チーム167件)
在宅療養ネットワーク の構築	在宅療養 ネットワー ク事業の実 施	在宅療養 ネットワー ク事業の充 実	○「事例検討会・多職種交流会」 (参加者数延 453人/4回) 「多職種連携研修」 (参加者数延 127人/2回) を通して顔の見える関係を構築 ○医療・介護連携シートの発行 ○「在宅療養ガイドブック」 「認知症ガイドブック」の発行による 在宅療養の理解普及

介護予防の推進

● 「街かどケアカフェ」の設置

医療・介護・健康の相談と高齢者等地域住民の交流の場となる「街かどケアカフェ」を、区内でも特に高齢化率の高い地域に設置する。

● 主体的に取り組む介護予防

介護予防と日常生活の支援を一体的に行う「介護予防・日常生活支援総合事業」を新たに実施する。

- ・ 高齢者が長く健康で自立した生活を営めるよう、ロコモ体操の実施会場を増やし、介護予防に取り組むサークルへリハビリ専門職のアドバイザーを派遣することにより、地域における介護予防活動を支援する。

29年度目標	26年度末見込	27年度目標	27年度実績
街かどケアカフェの設置 2か所設置	—	開設準備	谷原出張所改修工事等。4/15オープン
ロコモ体操参加者数 年間1,960人／82回	ロコモ体操参加者数 年間1,000人／48回	ロコモ体操参加者数 600人増／18回増	ロコモ体操参加者数 360人増／18回増
リハビリ専門職派遣 65団体	—	リハビリ専門職派遣 56団体	リハビリ専門職派遣 21団体
介護予防・生活支援 サービス利用者数 5,534人	—	介護予防・生活支援 サービス利用者数 4,970人	介護予防・生活支援 サービス利用者数 4,701人

地域での生活を支援するサービス等を拡充 ①

● 地域生活を支援する拠点等の整備

要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域生活を支援するサービスを提供する拠点の整備を進める。

29年度目標	26年度末見込	27年度目標	27年度実績
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) 36 箇所 (617人)	32 箇所 (545人)	1 箇所 (18人)	・ 大泉圏域の事業者 を選定 (開設は28年度予定)
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護 9 箇所	7 箇所	—	—
看護小規模多機能型 居宅介護 4 箇所 (116人)	—	1 箇所 (29人)	・ 大泉圏域の事業者 を選定 (開設は28年度予定)

地域での生活を支援するサービス等を拡充 ②

● 在宅生活支援事業の実施

特別養護老人ホームの入所対象とならない方や、経済的な理由でサービス付き高齢者向け住宅への入居が困難な方等で自宅での生活を希望する方に、①緊急通報システム②安否確認・生活相談サービス③配食サービスから、ご本人の身体状況等により必要なものを組み合わせて利用できる事業を開始。

● 多様な担い手がきめ細かな生活支援サービスを提供できる体制づくり

地域での支え合いを推進するために、元気高齢者等でボランティア活動を希望する方を対象に、多様な生活支援サービスの担い手を育成する研修を行う。研修修了者が地域で活躍できるよう、生活支援サービスを提供する事業者や団体等への橋渡し役となる「生活支援コーディネーター」を配置する。

29年度目標	26年度末見込	27年度目標	27年度実績
自立支援住宅改修給付	利用件数 年間 720件	対象種目の拡大・ 改修費用限度額の 引上げ	対象種目の拡大（昇降機・ ホームエレベーター）・ 改修費用限度額の引上げ
在宅生活支援事業 利用者 660人	—	利用者 120人	利用者 171人
高齢者支え合いサポーターの育成	—	育成研修の実施	育成研修 2 回実施 (サポーター65人)
生活支援コーディネーターの配置 4名	—	1名配置	1名配置

介護保険施設等および高齢者センターの整備

● 介護保険施設等の整備


今後の整備用地を確保するため、土地所有者を対象とした土地活用セミナーを開催するなど、特別養護老人ホーム等の整備を促進する。

● 高齢者センターの整備

関越自動車道高架下を活用し、大泉地区に4館目となる（仮称）大泉高齢者センターを整備し、元気な高齢者向けに健康づくりやレクリエーションの場を提供する。

29年度目標	26年度末見込	27年度目標	27年度実績	整備予定
特別養護老人ホーム 2,204床	1,864床	—	国有地活用による 運営法人の選定 (1施設40床)	29年度 2施設204床
短期入所生活介護 (ショートステイ) 387床	332床	21床	1施設 21床増	29年度 2施設24床
介護老人保健施設 1,476床	1,080床	156床	2施設 156床増	29年度 1施設80床
都市型軽費老人ホーム 11施設(定員210人)	8施設 (定員150人)	1施設 (定員20人)	1施設増 (定員20人)	29年度 1施設20床
(仮称)大泉高齢者セ ンターの整備・開設	3館(光が丘・ 関・豊玉)	実施設計 (完了)	実施設計 (完了)	29年4月開設

介護予防の拠点となる「街かどケアカフェ こぶし」を開設

 高齢者の介護予防の拠点となる「街かどケアカフェ こぶし」を、谷原出張所内（練馬区高野台1-7-29）に開設します。

 **街かどケアカフェが一体的に実施する3つの柱**

- ①街かどケアカフェへの来所を促す働きかけと相談支援
- ②気軽に立ち寄れる交流の場の提供
- ③介護予防や健康増進に資する事業



※ 区の木「こぶし」を、街かどケアカフェの愛称にしました。

来所を促す働きかけと相談支援

- 閉じこもりがちな高齢者等の自宅を**訪問**し、街かどケアカフェへの来所を促します。
- 看護師等が、介護予防、健康、認知症等に関する**相談支援**を実施します。



街かどケアカフェでは
看護師等を配置し
これらの取組を一体的に実施します



気軽に立ち寄れる交流の場の提供

- ◆ **他者と交流**したり事業へ参加することにより生活を活性化。認知症の予防を図ります。
- ◆ 地域団体が行う活動（**認知症カフェ**等）を街かどケアカフェで実施します。

介護予防や健康増進に資する事業

- ◆ **介護予防講座**等を実施し、介護予防や健康増進に関する意識の向上を図ります。
- ◆ **ロコモ体操**等を実施し、要介護状態になることを予防します。